

いいしクリーンセンター



水切りの豆知識

1 三角コーナーに水切りネットをセットして水分を切る



2 ごみ出し前に再度水切り（今回はペットボトルの先端で製作した道具を使用）



3 水切りネットごと水を切る



6 燃えるごみ袋へ入れ、指定のごみボックス・ごみ置き場へ



5 新聞紙で包む（無駄な水分が新聞紙に吸収され、臭いを抑えられます）



4 生ごみを新聞紙へ



いいしクリーンセンター
春木所長
に聞く

分別方法変更のQ&A

Q 分別方法が変わるのはなぜですか？

A 現在飯南町で出された可燃ごみは、いいしクリーンセンターで収集され、出雲エネルギーセンターに運ばれ、処理（再資源化）されています。しかし、出雲エネルギーセンターは令和4年3月末で閉鎖になり、令和4年4月から雲南エネルギーセンターで処理されることになります。そのため、この施設の処理方法に合わせた分別が変わります。

Q 雲南エネルギーセンターはどんな処理方法ですか？

A 雲南エネルギーセンターは、廃棄物循環型社会を目指して、ごみの適正処理と資源化を図るため、公害のない「ごみ固化燃料システム」による処理方法を採用しています。
ごみ固化燃料システムは、可燃ごみを破砕、乾燥、選別、成形し、固形燃料にするものです。製造された固形燃料は、石炭などの化石燃料の助燃剤や施設の給湯・熱冷暖房の熱源として再利用でき、県内では加茂健康福祉センターかもてらす（雲南市加茂町）で使われています。



ごみ固形燃料 (RDF)

Q 令和4年4月から施設が変わるのに、この4月から分別方法が変わるのはなぜですか？

A 分別変更への理解と協力を得るのに時間がかかると考えているからです。そのため、令和2年4月から令和4年3月までを試行期間として、分別の状況を確認していく予定です。これまで通り「名前の記入がないごみ」や「分別できていないごみ（旧分別）」は、回収できません。

Q 分別に必要なことがあれば教えてください。

A これまでも、これからも一番大切なのが「水切り」です。その理由は、ごみを固形燃料にする工程で邪魔になるのが生ごみの「水分」だからです。水分が少しでも切れていれば、乾燥させる時間も短く、コストや二酸化炭素を抑えることができます。そして、「水切り」はごみを処理する側だけでなく、ごみを出す側にもいくつかメリットがあり、一番身近なものは「悪臭を抑えられること」です。
ごみから少し嫌な臭いがしたとき「水切り」のことを思い出してみてください。



いいしクリーンセンター春木所長

4月からごみの分別方法が変わります
混ぜたら、ごみ
分けたら、資源